

## 令和元年度第1回広報・広聴委員会 会議報告

日 時 令和元年5月17日（金）13：30～17：00  
場 所 広島県立文書館（研修室）  
出席者 平岡委員長，宇野，坂口，福嶋，藤吉，鎌田，  
伊藤，西向，荒木（事務局），宇都（事務局）  
欠席者 吉原

○開会あいさつ（平岡委員長）

○自己紹介

○委員会関係規程について

- ・会則における委員会設置の根拠，委員会運営要領について確認した。
- ・互選により伊藤委員を副委員長（編集長）に選出した。

○報告・協議

（1）報告

a 会誌『記録と史料』第29号について

- ・平成31年3月29日に発行，発送済み。

b 会報第105号について

- ・平成31年3月29日に発行，発送済み。

c 平成30年度第2回役員会について

- ・役員会に出席した西向委員から役員会の内容について報告した。

d 令和元年度全史料協の組織体制について

- ・全史料協の役員名簿により第23期の体制について確認した。

（2）協議

a 平成30年度事業結果報告・決算報告

- ・前事務局の富山県公文書館から引き継いだ事業結果及び決算について報告した。
- ・会長事務局にも報告済みであり，5月23日の役員会で承認を受ける予定である。

b 令和元年度事業計画について

- ・第2回委員会は8月9日に大阪市内にて，第3回委員会は大会2日目に会場（安曇野市）で開催する。
- ・会報第106号を令和元年9月に，会報第107号と会誌『記録と史料』第30号を令和2年3月に発行する。
- ・各委員会や会員，関連機関等から寄せられた情報を迅速にホームページに掲載する。
- ・刊行物の販売と在庫管理を行うとともに，刊行後1年経過した会誌の記事をJ-STAGEへ掲載する（会誌第29号の記事を令和2年3月に掲載予定）。

c 令和元年度予算案について

- ・各委員が3回の委員会に出席できるよう会議費（旅費）を増額した。
- ・事務局交代に伴い，ホームページ管理のためのプロバイダー契約料を予算措置した。
- ・会誌，会報の印刷製本費と通信運搬費について，消費税増税分を見込んで増額した。

**d 会報第 106 号の編集**

- ・ 12 頁で構成する。
- ・ 第 23 期会長就任あいさつ，第 1 回役員会レポート，各委員会の事業計画と抱負，総会関連記事等の内容とする。
- ・ 次のスケジュールで進行する。  
構成決定：6 月中旬，原稿依頼：6 月下旬，現行締切：8 月上旬，  
印刷完了：9 月下旬

**e 会誌『記録と史料』第 30 号の編集**

- ・ 過去のテーマを概観し，議論した結果，第 30 号にちなんで特集テーマを「30 年を振り返る」（仮）とした。昨年度の特集テーマ候補であった公文書管理（平成 30 年 7 月豪雨災害特集に変更）については，このテーマの中で取り上げることとする。
- ・ アーキビストの眼は，公文書館機能普及セミナーの開催・参加記等とする。
- ・ 特集，世界の窓およびネットワークの原稿依頼候補者について，役割分担して各委員から打診することとした。
- ・ 書評と紹介については，第 2 回委員会で協議する。

**f その他の事業について**

- ・ 特になし

**○その他**

**a 次回開催場所および日時**

- ・ 第 2 回委員会は，広島県大阪情報センターで 8 月 9 日（金）に開催することとした。

**b その他事務連絡等**

- ・ 事務局から，保存用の会誌・会報およびバックナンバーの輸送・保管が大きな負担になっている旨発言があった。委員からは，全史料協のアーカイブズ管理の観点からも適切な整理・保管ルールを検討する必要があるとの意見があり，今期中の検討課題とした。
- ・ ホームページへのアクセス状況および他機関等の情報掲載状況について，次回委員会で検証することとした。
- ・ 平成 30 年度第 2 回役員会で発言のあった英文ホームページの作成については，全史料協内での調整を受けて対応することとした。